



と上級生が、いいがかりをつけてきました。

「おれ、とってねえよ。」

「うそだ、ばあちゃんがちゃんと見てたんだがんな。それに、おめ家はびんぼうだから、食うもんだってねえんだっぺ。」

「おれ、ぜったいにとったりしてねえよ。」

大作は涙をうかべながら言いました。上級生四人は大作のうでをひっぱって、たんぼに落とそうとしています。

「やめろ！」

大作の横でだまっていた稔は、がまんができずにこうさげびました。

「大ちゃんは、どろぼうなんてするような子じやねえぞ。いいかげんなこと言うな。」

「なんだ稔。おめ家もびんぼうだから、大作のことをかばうんだっぺ。やい、びんぼう人。」

「やーい、やーい、びんぼう人。」